



① 小中学校の不登校について

松岡みゆきの質問

- ①不登校者数の推移は。
- ②2020年度の不登校者数は小学校で216人、中学校で551人とあるが、この現状を教育委員会はどのように捉えておられるのか。
- ③親子共にづらい思いをされて、不登校の生徒・保護者からどのような声が上がっているのか。
- ④生徒が当たり前に通えるには、今後、どのような対策を検討されておられるのか。



学校教育部長の答弁

- ①町田市での不登校者数の推移は
小学校で2016年110人が2020年216人、中学校では同じく355人が551人に年々増加。
- ②不登校者数が年々増加して大きな課題である。2日欠席で担任が家庭へ電話連絡・3日欠席で家庭訪問する。不登校の子供達に適応指導教室の充実や民間事業者と共に取組む
- ③親子から「進路が心配」「子供の居場所や学習支援を受ける場所はないか」等の声がある
- ④カウンセラーの関与促進・ICT機器を活用した支援状況確認と好事例発信に取組み丁寧に対応する



② 子育て世帯への支援について

松岡みゆきの質問

- ①令和2年12月定例会で質問した、近隣の厚木市では、すでに子育て世帯に「赤ちゃんの紙おむつ」を無償提供し(1年間で5万4千円分の支給)家に配達までしてくれて、お母さん達がとても助かっているそうだ。市はその後、検討されたのか。
- ②少子化対策としても検討すべき。このままだと高齢者を支えきれず社会保障が崩れてしまう。又、核家族で共働き世帯が増えた今、お母さん達を助ける人が周りにいません。おむつを買うのにも大変です。是非とも町田市でも取り組むべきだがどうか。



子ども生活部長の答弁

- ①赤ちゃんの紙おむつ支給制度の実地は検討していない。子どもを産み育てやすい環境づくりに向け他市の事例の情報収集に努めてきた
- ②出産子育てしっかりサポート事業において、商品券1万円分を支給していて、おむつ購入にも使用できる。又、今年度から1歳を迎えるお子さんを対象に「こども商品券」の配布や保健師が必要な支援を行う、ファーストバースデーサポート事業を開始します。この状況から、おむつ支給制度の予定はない。

③ 小中学校の不審者対策について

松岡みゆきの質問

- ①以前、大阪の小学校に不審者が侵入し子供8人が犠牲となり、この反省から学校で子供の命を守るための護身用具の「さすまた」が、都立公立学校に80%設置されているが市は如何か
- ②学校で不審者対策教室は実施されているのか
- ③教職員に「さすまた」の使い方の指導はされているのか。



学校教育部長の答弁

- ①各学校に複数本ずつ設置。1本約7千円で、重さは1kg。職員室や昇降口に設置。
- ②年1回、不審者から身を守る避難訓練を実施し、セーフティー教室を行っている。
- ③「さすまた」の持ち方や扱い方、複数の教職員での対応方法を警察から指導を受けている。今後も計画的に教職員の訓練を実施し、学校の危機管理体制を向上させていく。